

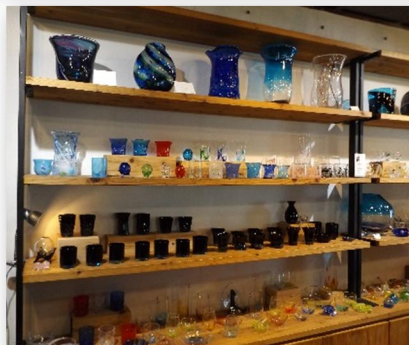


第50号 (H30.3月)

沖縄県男女共同参画センター「ているる」情報誌

ているる
ちゃんがいく!

- 特集 P1~2
W20の女性活躍推進～企業を輝かせる女性たちの煌めき～
女性幹部職登用20%を達成した金秀グループ
- 誌上講座 P3
沖縄の性暴力被害者支援と活動の歴史について
さよウィメンズ・メンタルクリニック院長 精神科医 竹下 小夜子さん
- \好評連載中/ すてきなあなたにインタビュー P4
沖縄で見つけた、輝き続ける道
有限会社海風 琉球ガラス職人 喜屋武 美香さん
- 事業報告&講座案内 P5~P6
- ご案内：ているる相談室&賛助会員、編集後記 P7



今号のすてきなあなたにインタビューは、有限会社海風の琉球ガラス職人である喜屋武 美香さんにお話を聞きました。琉球ガラスは沖縄本島を中心に手作りで生産されるガラス工芸品です。明治時代に入ってランプのホヤや投薬瓶などを生産したのが始まりで、戦後は駐留米軍のお土産品から出発しました。基本的な技法は吹きガラス工法（宙吹き法、型吹き法）で、4~5名のグループで作ります。豊かな色彩、厚みや気泡から生みだされる柔らかな輪郭や温もりが魅力です。1998年に沖縄県の「伝統工芸製品」に指定されました。



(写真左)

工房では「NO GLASS, NO LIFE」とプリントされたポロシャツで作業!

(写真右)

工房に併設されている店舗には、会社設立15周年の節目に社内にてミーティングを重ね、社員全員で決めた会社の指針、「FRONTIER 琉球ガラス業界の開拓者でよう」、「ENJOY ガラスと向きあい、お客様を喜ばせ、仕事をしよう」、「CRAFT MAN SHIP 技術力を磨き、傑作を産み出す職人魂を忘れるな」など6項目が掲げられています。

発行：沖縄県男女共同参画センター管理運営団体

公益財団法人おきなわ女性財団
株式会社かりゆしエンターテイメント

W20の女性活躍推進～企業を輝かせる女性たちの煌めき～

女性幹部職登用 20%を達成した金秀グループ

◎女性の活躍推進宣言を行った経緯についてお聞かせ下さい。

多業種をかかえる金秀グループは、女性社員の力をどんどん引き出すと共に柔軟な働き方のできる職場環境の整備に向けて、平成25年3月に「女性の幹部職の拡大、積極的なキャリア支援、職域拡大」を目標とした女性の活躍推進宣言を行いました。その実現に向け、金秀グループ各社の課長職を中心とした21名が呉屋会長より委嘱を受けて「woman's20 working team」（以下「W20」と言う。）を平成25年7月に立ち上げました。

◎W20の名称はどのように決まったのでしょうか。

グループ各社全体の社員に占める女性割合が20%であることから、女性幹部職の比率20%を目標と定めこのような名称となりました。



インタビューの様子

◎W20の取組を教えてください。

最初の取組は、「女性幹部職を増やすには何が必要か。」をチーム員が学び、講師を招いての勉強会や県外企業の訪問、グループ内の社員（男女）へのアンケート等を実施しました。

アンケートの結果から3つの課題を確認しW20の中に、

- ①仕事と家庭の両立支援チーム
- ②意識改革チーム
- ③職場・風土改革チーム

の分科会を設置し、それぞれ活動を行うと共に毎月1回はW20の全体会を実施しました。

分科会の①仕事と家庭の両立支援チームは、育児・介護ガイドブックや育児休暇面談シートの作成、時間単位の年休推進などを②意識改革チームは、女性幹部職や係長以下の女性社員キャリアアップ研修、県外企業との異業種交流などを③職場・風土改革チームは、男性幹部職研修において、W20取組状況や女性登用の意義や大切さ、女性登用の取組促進などを。各分科会は意見交換を行い少しでも現状を変えようと活発に議論し、それぞれ取り組んできました。



「女性リーダーのすすめ」講演会の様子（2017.11.15）

◎W20の活動について戸惑いなどはなかったですか。

個人的な感想ですが、W20の活動は勤務時間内の取組ではありますがその間、自身の担当業務ができないので不安も多く実際取り組めるのか・・・戸惑いは大きかったです。しかし現在は、委員になったことで学べる機会が多く、グループ会社の状況やネットワークの構築など得られるものが多く様々な方と交流することを含め楽しめるようになってきました。

◎女性幹部職の比率20%は何時達成されましたか。

W20立ち上げ時の平成25年度のグループ全体社員に占める女性幹部職（課長、次長、部長）の割合は、10%で、平成28年度に20%を達成しました。

◎女性幹部職の登用を進める上で苦勞された点や男性社員からの不満の声はなかったですか。

例えば、金秀商事株式会社（スーパーやゴルフ場、ホテル経営）では、女性社員の比率が70%（パートを含む）と非常に高く、一度に14名（内：女性店長5名）の女性幹部職の登用を進めたこともありました。

勤続年数が長くベテランの女性社員を中心に幹部職へ登用したため金秀商事本社の各店舗・事業所をサポートする「サポートセンター」の混乱はなかったですが、スーパーでは「順番や荷下ろしできない女性がなぜ店長に？」といった不満の声もあった一方で「店舗の雰囲気が変わり明るくなった。」との好意的な声も聞こえてきました。

新任の女性幹部職のフォローアップとしては、月1回の「女性幹部職育成会議」を開き、月次会議資料の見方や月次会議模擬報告会の勉強会、試食会などを開きコミュニケーションを図ってきました。

男性社員からの不満の声に対しては、役員が会社の方針を説明したおかげで、今では女性幹部職の登用は当たり前になり、職場の雰囲気も良くなっているように思います。

また、建設関係の5社は、相対的に男性社員の比率が高く、当初は女性幹部職が登用されていない会社もありました。女性が幹部職になる

ことで、「男性に対し申し訳ない。」
「自信が無い。」といった意見や、
「社内にロールモデルとなる女性
幹部職がない。」といった悩みの
声も聞こえました。

－女性幹部職の意識の変化－

幹部職に登用されると、本人の頑
張りもさることながら、W20の研
修や活動を通して、金秀グループ内
の横の繋がりや、「男性と同じよう
に働かなければならないではなく
自分の力を発起しなさい。」、「女
性が働きやすい会社は、若い社員も
全て働きやすいから。」といった男
性上司のアドバイスやサポートも
あり、目の前の業務を自分なりに考
え、こなしていくことで経験と自信
が付き意識も変わってきたように
思います。

◎W20の取組を始めて女性社員の 意識変化はありましたか。



左：旧作業服 右：現在の男女同じ作業服

ひとつ例を挙げると、建設現場で
男性用とは異なる色の女性用の作
業着（赤色）があったのですが、女
性社員の方から男性用の作業着と
同じ色にして下さいとの要望があ
り、男性社員の多い職場においても
女性自身が「特別扱いされたくない」という意識を持つ女性社員が増
えています。女性社員は建設現場で
も頑張っており、重い荷物を運んだ
りするのは出来ませんが、それ以外
は男性同様に業務を行っています。

-育児・介護のガイドブックを発行-

働きやすい職場と育休取得率の
向上を目指して「育児・介護のガイ
ドブック」をW20で発行しました。

育休等を取得する際にどうすれば
良いかが解り、特にこれから休業に
入る女性社員、男性幹部職には好評
のようです。

育児休暇取得の推進を図るため
に、各社の総務担当者は、育児休暇
取得予定者に対し休職前、休職中、
休職明けの状況を「育児休暇面談シ
ート」を元に聞き取り、休職予定者
の属する係内において、休職に入る
次期や期間、休職前から休職中の仕
事の割り振りや復職後の勤務状況
（短時間勤務を希望など）の共通理
解を図る体制を整えました。その結
果、「育児休暇面談シート」導入前
と導入後では、より育児休暇が取得
しやすくなったという意見も増え、
今では育児休暇取得率はほぼ100%
となっています。

－グループ間公募－

金秀グループ各社内の人材を最
大限に利用するための「グループ間
公募」という制度があります。例え
ば、新規事業の立ち上げや同時退職
による人材不足、家庭の事情により
働く地域が限定されるなど、職員が
より長く働けるように、グループ会
社内で人材の募集を行い、マッチン
グが合意するとグループ会社間で
の異動が認められます。

－働きやすい環境整備－

雇用のマッチングとやる気を促
す「グループ間公募」は今年で5年
目を迎え、最近ではベトナム駐在所
の所長がこの制度を利用して決定
しました。その他にも、事業所内保
育所の設置や福利厚生施設（ゴルフ
場、スポーツジム）等の低価格での
利用、「チャレンジ支援規程」、「ハ
ラスメント防止ハンドブック」の作
成・周知など、働きやすい環境整備
に努めており、離職率はかなり低く

なっております。

◎今後の目標についてお聞かせ下 さい。

W20は、当初の目標を達成した
ことにより、平成29年6月に
「BONITAS FOR STEP☆UP（ボニータス
フオー ステップアップ）委員会」として、
新たに15名が委嘱されました。



新委員会委嘱（H29.6）

今後は、女性幹部職の割合20%
を下回ることなく、女性幹部職の質
の向上を目的に更なるステップア
ップを目指し、最終的には女性役員
の割合20%を達成出来るように取
組ます。さらに、当委員会は多くの
男性社員を巻き込んで、様々な考
え、意見を述べる場にして行くと共
に、女性幹部職の更なる発信力（ア
ウトプット）の強化に取り組んで行
きます。

インタビュー参加者（ボニータスフオー ステップアップ委員の7名）

- ・金秀鉄工(株)営業管理本部 管理部
部長 神田 幸枝
- ・金秀建設(株) 管理部 法務・労務
管理 部長 祝嶺 貴之
- ・(株)金秀本社 総務本部 人事部
部長 崎間 尚子
- ・金秀建設(株) 企画営業本部 建築
営業部 部長 上地 千登勢
- ・金秀バイオ(株) 営業部 通販事業
課 企画販促室
担当課長 池間 寿賀子
- ・(株)金秀本社 情報システム本部情
報管理部課長 名渡山 香苗
- ・金秀鉄工(株)生産本部 工務部工事
課 工事計画担当課長 與那覇あかね

沖縄の性暴力被害者支援と活動の歴史について

さよウィメンズ・メンタルクリニック院長 精神科医 竹下 小夜子



沖縄県で性暴力被害者のための社会的救援システム整備を求める声が強まった時期は、個人的に知る限りこれまで2回ある。1回目は強姦救援センター沖縄（REICO）設立、2回目は沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター設立につながった。

一度目は1995年9月、阪神大震災に始まり、地下鉄サリン事件が起き、北京国際女性会議が開かれた年である。これに先立つ1993年に国連総会で「女性に対する暴力撤廃宣言」が決議され、95年の北京国際女性会議には、県内各地からも多くの女性たちが派遣された。沖縄の女性たちが同会議で開いたワークショップのテーマは「基地・軍隊と女性に対する暴力」だった。女性会議でエンパワメントされた女性たちが、帰国したばかりの9月25日、地元紙一誌に掲載された「米兵らが小学生に暴行」という小さな記事に気づき、これはどういうことかと取り上げたのがきっかけで、島全体を揺るがす大きなうねりとなった。この動きは連日、全国的にも報じられ、一方で日米安保地位協定の問題、他方で性暴力被害者への対応やセカンドレイプの問題を提起する動きになり、結果的に普天間基地返還合意、被害者の心理的ケアに配慮した警察庁の捜査見直し方針につながった。

沖縄の女性たちは、日米地位協定と女性への暴力を「個人が安全に安心して暮らす基本的な権利」を求める同一線上の問題として捉えていた。彼女たちと、私を含む女性臨床家13人とが協力して、事件が報じられた1か月後

にはREICOを始動できた。週2回の電話相談と週1回の女性臨床家による面接、関係機関への付添同行支援を行う。女性たちは365日対応できる団体をと意気込んだが、無償のボランティアでは困難と説明し、無理なく継続できる活動をと説得した結果の活動内容だった。

REICOは沖縄県警全地域署に、被害者を傷つけない面接法をレクチャーし、警察庁全国研修会議で講演した。警察庁も民間団体との連携協力に関心を持ち、その後全国に犯罪被害者支援センターを設置。沖縄にも沖縄被害者支援ゆいセンターが発足した。活動内容非公開のREICOと異なり、捜査の段階で早期から被害者にかかわれる支援スタッフ育成がこの組織であれば可能になると考え、設置には私も協力した。

REICOは活動時間に限界があり、被害者支援センターは性暴力か否かを問わず「犯罪被害」への支援で、地域署が「事件性なし」として「犯罪」を認定しなかったケースへの支援には消極的になりやすかった。被害が「犯罪」を構成するか否かを問わず、性暴力被害者は医療を含めて被害直後から支援を必要とし、消防や救急のように24時間365日対応できるようにすることが求められる。

2012年に性暴力被害の当事者が声をあげた。田中真生さんと金城葉子さんのお二人が実名と顔を出して自身のあるいは愛する娘が受けた被害を率直に語り、沖縄県に公的資金で365日24時間対応できる病院拠点型の性

暴力被害者のためのワンストップ支援センターを設置するよう求める運動を展開した。私自身もその必要性を痛感し講演等を通じて発言していたこともあり、彼女たちの要請に心から賛同し微力ながら協力した。

彼女たちの切実な訴えは社会に大きな反響をまき起こし、多くの人々の働きかけを得て、2014年に沖縄性暴力被害者ワンストップ支援センターが設立され活動を開始した。近いうちに県立中部病院敷地内に真の病院拠点型ワンストップ支援センターが実現する予定で、現在、支援活動を行いながら移転に向けた準備が進行中である。

個人相手の精神科医ということもあり、私自身は組織や団体への信頼が薄く、集団は本質的に悪くなるものと思っているが、物事を進めるためには志を共有できる多くの人々が協力しあわねばならない。それぞれに不満や不足は多々あるだろうが、個人的に知る限りのこれまでの経緯を概観すると、紆余曲折はあれ、性暴力被害者支援活動は前進はしているのだと思う。



たけした さよこ

沖縄県出身。昭和53年北海道大学医学部卒。暴力被害の後遺症に悩む女性

たちへの臨床支援の傍ら、研修・講演等、全国の支援スタッフ育成や一般市民への啓発活動に取り組む。

著書「性 to 生 〜ジェンダーのはざまから」沖縄タイムス社刊、「Working With Women ー性暴力者支援のためのガイドブック」フェミニストセラピー研究会編・フェミックス社、「ドメスティック・バイオレンス 〜サバイバーのためのハンドブック」原田恵理子編・明石書店。論文など多数。琉球大学非常勤講師、沖縄国際大学非常勤講師。

沖縄で見つけた、輝き続ける道

有限会社海風 琉球ガラス職人 喜屋武 美香さん



大自然の遊びで育まれた生きる力

愛媛県四国中央市の出身です。

両親とも自営業で父は塗装業、母は美容師をしています。二人とも忙しかったし、兄がいるのですが年が離れているので、子どもの頃、週末はいつも祖母の家で過ごしました。

祖母の家は裏が全部、山！って感じで、祖母の家の近所には同年代の友達もなく一人でしたが、山の中で木の実を食べたり、カブトムシを捕まえたり、川遊びをしたり、元気いっぱいに駆けてまわっていました。

あこがれた気持ちを信じて

近所にガラス工房がありました。そこに外国の方がいて作業がすごくカッコよかった！ その時はまだぼんやりとした気持ちだったのですが、やってみてみたいなあと思いました。その後、小さい頃から絵を描いたり、美術が好きだったこともあって、倉敷の専門学校でガラスを学び、この道に入りました。

倉敷はガラス作家さんが多く、個展も頻繁に開かれている土地柄です。ただ、個人工房が多く、人を雇える余裕のあるところは少ない。別に仕事を持ちながら、経験を積んでいくやり方は私には続かないと思いました。それなら、観光が主産業の一つである北海道か沖縄には、雇用されながら経験が積める工房があるだろうと考えました。沖縄に来たのは暖かいほうがいいかなぐらいの気持ちでなんですけど・・・。

今いるこの工房は2ヶ所目です。1ヶ所目は3ヶ月の期間限定でした。その間に色々な工房に連れて行ってもらい、ここの工房と出会いました。この工房

が凄くいい会社なんです。社長が頑張ってくれている！一緒に働いている職人たちもいい！仲がいいんです、みんな。この雰囲気慣れてしまったから、他の工房で働いたら寂しいって感じると思います。

それから育児をしながら働きやすいです。2才になる上の子は社長の息子さんと同年齢で同じ保育園なので話すことも多いです。また、今年の夏は妊娠初期で結構きつかったのですが、ガラスは1300度で溶かしているものでいつでも熱い！んですが、今、産休に入っている先輩とちょうどタイミングが重なって、お互い「大丈夫」って励ましながらやってきました。

いい流れに乗って

そろそろ、お腹も大きくなってきて、工房に併設されている店舗の受付勤務にと言われているのですが、ギリギリまで粘っています。ガラスを吹いているのが楽しいんですよね。

ガラスはすぐ形になる、そこがいいんです。こつこつ作るというよりは一瞬で形を決める。一瞬で決めないと冷めてしまうし。それを4~5名のグループで作り上げていく。ガラスに息を吹き込んで成形する人、その手元をサポートする人がいて、吹き竿とガラスを切り離すための棒を準備し持ってくる人がいる、そして仕上げる人。

みんなのこの流れが出来ていないとガラスは作れないんです。上手にコミュニケーションをとり、みんなで手際よく作っているという、この流れ、リズムよく生産しているっていうのが楽しいですね。

迷いを経験したからこそ

実は1度工房を辞めているんです。東日本大震災のとき。沖縄に来て6年目ぐらいですかね、親のところに帰りたいってなりました。しばらく愛媛にいて、また沖縄に戻ってきました。その時にガラスしか知らないことに不安になりました。また、好きなことを続けていて凄くねと友人に言われたりしていましたが、友人たちは無理はしているけどいい給料をもらっていて、羨ましくなったり。

それで、福祉施設と設計事務所にそれぞれ2年勤めました。様々な経験をさせてもらったのですが、魅せられるものとの出会いはありませんでした。その後、結婚や出産をし、短期のバイトなどをしているときに、パートからですが来ますかって社長から声をかけて頂きました。

やっぱりガラスはいい！

将来の夢は、続けられたら、ガラスを続けていきたいですね。ガラスはみんなで作るから、みんなの技術が上がっていかないといいものがない。まだまだ見習いの身ではあるのですが、先輩から受け継いだ技術や自分の経験を若い職人たちに伝えたい。みんなで成長し、みんなで長く続けていきたいと思っています。

きゃん よしか

1985年 愛媛県生まれ

2005年 倉敷芸術科学大学専門学校卒業

2007年 (有)海風入社。

一度退職し、結婚・出産などをを経て、再入社。育児と仕事の両立生活を送っている。



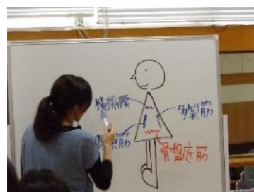
★事業報告★

【健康教室】カラダの変化に負けない！～骨盤を整えて、骨盤底筋を鍛える～

実施日：1/13（土）、20（土）、27（土）

講師：松浦 有梨さん（全米ヨガアライアンス認定インストラクター）、田仲 奈穂さん（看護師・助産師）

内容：1回目は骨盤やゆがみの原因、理想の骨盤についての説明後、骨盤の自然な開閉を促すヨガを行いました。2、3回目は骨盤底筋の場所、衰えの原因を説明後、骨盤底筋を鍛えるエクササイズを行いました。



【コミュニケーション講座】ワークショップで体験！パートナーとの関係を変える

実施日：2/10（土）講師：浅野 恵美子さん（カウンセラー）

内容：人間関係は、「アタッチメント＝愛着」を幼少期の親子関係で、どう形成したかが重要であり、大人になってからの「愛着のゆがみ」が男女関係や夫婦関係を崩していくことに繋がると話しました。ワークショップでは、ペアを変えながら、夫婦を静止画で表現したり、夫婦喧嘩を演じたりして新しい自分を発見したり他者の考えを共有しました。夫婦やパートナーは、違う人間同士が結婚などで生活を共にするが、繋がりはとても大切なことである。夫婦の円満関係は延いては世界平和に繋がると話しました。



【法律講座】身近な法律「遺言と相続・成年後見」～やさらかな人生のゴールをめざして～

実施日：2/17（土）講師：中村 照美さん（弁護士）

内容：弁護士経験50年の講師から遺言の書き方や事例を挙げて分かりやすく説明。「配偶者優遇制度、相続税基礎控除の金額、成年後見人制度」など利用できる制度を上手に活用するようにアドバイスしました。相続のケースや成年後見人制度についても、事例とユーモアも交えながら話し、受講者は楽しく真剣に学んでいました。



【女性起業塾】無理なく楽しく ワークライフミックス♪☆オケマリ先生の手帳活用術☆

実施日：2/20（火）講師：桶下 眞理さん（手帳オーガナイザー・起業家） 後援：コヨマーケティング株式会社

内容：人は意識していないことはなかなか気がつかないことがあるので、まずは手帳を大いに使って意識を持つことが大切と話し、手帳に毎月やりたいことを書き出し、月末に実行できなかったことの理由を考えると気づくことがたくさんあることを紹介。起業を目指す女性らは、グループワークで自分と周りの人の夢をシェアしながら、自分の夢をふせんに書き出し、次に自分がその夢のために「いつ」までに「どうなっているか」を手帳に宣言、更に「いつ」を12月末まで、半年後、3ヶ月後と少しずつ小さなかたまりにして考えるという『夢が叶う手帳の使い方』を学びました。



【職務関係者対象DV防止啓発講座】理解しておきたい、刑法の性犯罪規定改正の成果と課題

実施日：1/12（金）講師：矢野 恵美さん（琉球大学大学院法務研究科教授）

★講座案内★ お問い合わせ&お申込み Tel 098-868-3717

【相談員研修】「アタッチメント（愛着）の基礎と支援」

【日時】3/15（木）14：00～16：00 【場所】ているる1階ホール 【定員】80名

【講師】中尾 達馬さん（琉球大学教育学部准教授） 【受講料】無料 【対象】関心のある方ならどなたでも

【DV防止啓発講座】DVがもたらすところへの影響

【日時】3/20（火）14：30～16：30 【場所】ているる1階ホール 【定員】100名

【講師】竹下 小夜子さん（精神科医 さよウィメンズ・メンタルクリニック院長）

【受講料】無料 【対象】関心のある方ならどなたでも





★事業報告★

新春子ども書初め教室

実施日：1/6（土） 講師：大見謝京子さん（すずらんの会主宰 わかさ書道教室主宰 日本習字教師免許 茅原書芸会師範 文部省検定1級）

内容：最初に書道セットの使い方、筆の持ち方を説明。その後、文字・名前の間隔など、ひとりひとり丁寧に指導しました。参加した子どもからは「家では集中して出来ないけど、ここに来て、先生に教えてもらったら上手に書けてうれしかったです。」、保護者からは「少人数だったので、丁寧に教えて頂けて良かったです。」などの声がありました。



楽しく歌おう！童謡・唱歌講座

実施日：1/10（水） 講師：福井貞幸さん（那覇市内の公民館などで童謡・唱歌指導）

内容：「芭蕉布」「ていんさぐぬ花」「えんどうの花」「ちんぬくじゅうしい」などの沖縄の歌や、「ペチカ」「山小屋の灯」「牧場の朝」など約20曲を歌いました。



ているるフェスタ2017 スイーツお茶会deうたいま唱歌！

実施日：2/14（水） 出演：いらみなぜんこ（語りべ）、福井貞幸（ピアノ）

内容：「スイーツお茶会deうたいま唱歌！」と銘打ち、フリーアナウンサーのいらみなぜんこさんを語りべに迎え、世代を超えて愛され歌い継がれる定番曲「ふるさと」ほか20曲余りを合唱。また、バレンタインにちなみ、スイーツを提供し、お茶会を楽しみました。フィナーレでは100名余りの参加者全員で円陣を組み「夕やけこやけ」を大合唱しました。参加者からは「良い企画だった」「半年に一回は開催してほしい」という声がありました。



★講座案内★ お問合せ：ているる窓口Tel 098-866-9090



ているる祭り 2018

ているるを利用しているサークル又は団体およびふれあいサロン登録団体の日頃の活動の成果を発表します。また、ステージ部門やエントランス出店の一般公募も行っています。詳細はているる窓口Tel 098-866-9090まで

【日時】平成30年3月17日（土）10:00～16:00 【場所】ているる1階ホールおよびエントランス

【内容】ホールの部（舞台部門）：舞踊（琉球舞踊、日本舞踊、洋舞等）、合奏、歌、三味線など
エントランスの部（展示部門）：フラワーアレンジメント、洋裁、書道、マルシェ（販売）など

～ ているる相談室 ～

沖縄県男女共同参画センター「ているる」では相談窓口を開設しています。
相談料は無料（通話料は相談者負担）、秘密（プライバシー）は固く守ります。

女性相談 ☎ 098-868-4010

	一 般 相 談	特 別 相 談
日 時	火曜～土曜 10:00～20:00	予 約 制
相談方法	電話 / 面接（面接は予約制）	面 接
相談内容	♣一般相談♣ 生き方、性格、夫婦・親子関係、対人関係をはじめ様々な悩みや問題に関する相談に女性の相談員が電話または面接相談で支援します。 ♣国際相談♣ 外国人との結婚・離婚などの様々な問題に関する相談に対応します。	♣法律相談♣ 女性問題に詳しい弁護士が対応します。 ♣国際法律相談♣ 国際結婚・離婚をはじめとする国際法に詳しい外国法事務弁護士が対応します。 ♣こころの健康相談♣ 女性問題に詳しい医師が対応します。
お 休 み	毎週日曜と月曜、年末年始（12/29～1/3）	

男性相談 ☎ 098-868-4011（電話での相談のみになります）

日 時	日曜と月曜 10:00～16:00
相談内容	男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や身体の悩みなどの相談を男性相談員が電話でお受けします。
お 休 み	祝日にあたる月曜、年末年始（12/29～1/3）

～ 賛助会員のご案内 ～

当財団は、県内における女性の社会参加などを促進する啓発活動や男女の社会活動に対する支援事業などを総合的に展開し、男女共同参画社会づくりに寄与することを目的とした事業を行っています。この活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。頂いた会費は各種事業の運営費として有効に活用させていただきます。

●特 典：情報誌「ているるちゃんがいっく！」をお届けします。また講演会・講座などへ優先参加をすることができ、有料講座は会員特別価格で受講できます。

●年 会 費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円
団体会員：10,000円

※平成30年度より、年会費の納入時期を6月末に統一します。また、新規賛助会員の初年度会費は、入会時期により異なります。詳細はお問合せください。

～ 編集後記 ～

今号は、女性たちのそれぞれの場所でのそれぞれの生き方を紹介しました。

特集では金秀グループの女性幹部職登用20%達成に取組んだメンバーを取材しました。現在沖縄県は病院拠点型の「沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター」設置に向けて取り組んでいます。今回誌上講座では、民間の強姦救援センター沖縄（REICO）の設立に尽力し、その活動を支えたさよウィメンズ・メンタルクリニック院長で精神科医の竹下 小夜子さんに沖縄の女性たちが行ってきた性暴力被害者支援活動について執筆していただきました。すてきなあなたにインタビューでは自分の道を歩み始めた琉球ガラス職人の喜屋武 美香さんにお話を伺っています。

春はありがたいことになにかと叱咤激励されてしまうことが多い季節ですね。新しいことに挑戦しようと思っている人にとっても、お休みしている人にとっても、だれもが温かい陽射しに包まれ、そのままのあなたが丸ごと大切にされる季節でありますように…。

沖縄県男女共同参画センター「ているる」

900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1

… 公益財団法人おきなわ女性財団 …
TEL：098-868-3717 Fax：098-863-8662
H P：http://www.okinawajosei.org/

… 沖縄県男女共同参画センター管理運営団体 …
TEL：098-866-9090 Fax：098-866-9088
H P：http://www.tiruru.or.jp/